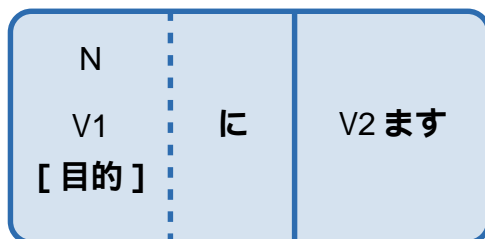


助-15 に(目的)



N : 移動の目的
いどう もくてき

V1 : 移動の目的となる行動、Vます
いどう もくてき こうどう

基 本

例 文

① あした父はデパートへ買い物に行きます。
ちち が 物 の い

④ うちへ忘れ物を取りに帰ります。
わすれ 物 と かい

② 田中さんはわたしの国へ勉強に来ました。
たなか くに べんきょう き

⑤ A: どこへ行きますか。
い

B: 公園へ行きます。
こうえん い

③ 来週、バスケットボールの試合を見に行きます。
らいしゅう し あい み

A: 何をしに行きますか。
なに い

B: バスケットボールをしに行きます。
い

解 説

A. V1は、「行きます 行き」のように「Vます」から「ます」をとった形。
い い かたち

B. 「に」は、N、V1が移動の目的であることを示す。(例文①②③④⑤)
いどう もくてき しめ

C. NまたはV1で示される行動が行われる場所、つまり移動の目的地を示すときは、助詞「へ」を使う。(例文①②④)
しめ こうどう おこな ばしょ いどう もくてき ち しめ じょし

D. 「何をしにVますか」で目的をたずねることができる。(例文⑤)
なに もくてき

先生へ

「に」は助詞。

Nは、目的となる行動と結びつく名詞。

日本語能力試験4級相当の名詞: 朝ごはん、昼ごはん、晩ごはん、買い物、授業、パーティー、勉強、旅行、散歩、練習、仕事、スポーツ名など

V2は、移動を表す動詞。

日本語能力試験4級相当の動詞: 行く、来る、帰る、出かける

移動の目的地は行動が行われる場所でもあるが、助詞「で」を使わないように注意すること。

【関連項目】

- 助-02 に(時)
- 助-07 に(場所)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)
- 助-26 に(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

- 5-5 休みのこと
- 5-6 手紙
- 5-7 映画を見に行きませんか
- 5-8 さそいましょう
- 5-9 ポスター